

パノラマチノラマ ナレーション

【最終版】

シーン	項番	きっかけ	ナレーション(J:じゅんじゅん/ A:久井麻世)	動き
受付	M0	すでにM1が流れている状態。		M0-M2: 同じ曲
オープニング	M1から fade in N1-1		J: みなさん、こんにちは。今日はツアー型パフォーマンス"パノラマチノラマ"にご参加いただきありがとうございます。これから1時間半ほどをかけて、福祉をめぐる旅に出ます。ナビゲーターは僕、じゅんじゅんと、 A: わたくし、久井麻世です。	
			J: 普段見慣れた街を改めて実際にご自分の足で歩いてみることで、知らなかった何かと出会うかもしれません。一緒に、楽しい旅にしましょう！	
			A: このツアーは、イヤフォンガイドを装着しながら進行します。まず最初に、イヤフォンのボリューム調整について説明しますね。みなさん、機械の裏側に鍵のマークの付いた「ホールド」というツマミがわかりますか？ まず、このこちらのホールドを左側にずらして、アンロックの状態にしてください。そうすると、音量が調節できるようになります。音量の調節は、機械の横側、音量:大小と書いてあるボタンを使って行ってください。調節が終わったら、もう一度裏側のホールドボタンを、ロックの状態に戻してください。これで、音量の調節は完了です。	
	N1-2		A: ツアーの最中は、イヤフォンを外してお話を聞いていただくこともありますので、その都度ガイドに従ってください。 J: また、ツアーの最中、何か困ったことがあったら、遠慮なく係りの人にお知らせください。係りの人は手を振っているあの人です。見えますかー？ では、準備も整ったことですし、ツアーに出発しましょう！ロビーの方へ向かってください。	ガイドが手を振り、参加者が振り返る
	M2	移動開始とともに		
トーク①	N1-3	カフェカウンターが見えてきたら	A: あれ？さっそくですが、あちらにどなたかいらっしゃいますね。何かの窓口のようです。ちよつと行ってみましょうか！	ロビーからカフェカウンターへ移動
	N1-4 (市役所職員)	カフェカウンター前に到着したら	市役所職員トーク (イヤフォン)	イヤフォンからの市役所職員のナレーションを聞きながらカウンターで行われるエピソードの再現を眺める。
	N1-5	市役所職員の話が終わったら	J: 福祉、と一口に言ってもたくさんあるんですね。僕も勉強になりました。〇〇さん、ありがとうございました。さようなら！ さあ、中庭に出てみましょう。市民館の中庭は本当に気持ちがいいですよ～ A: あれ？またあちらにどなたかいらっしゃいますよ！行ってみましょう。	カフェカウンターから中庭へ出る。 市役所職員、参加者に手を振って見送り。 社協職員の登場
トーク②		社協職員のトーク (生声) <u>話はじめにイヤフォンをはずしてもらうよう指示</u> → <u>スケッチブックを使ってトーク</u>	トークをしながら参加者を誘導。 エレベーターの陰から美容院 ネイリスト登場。 跨線橋下まで来たら、イヤフォンを再度装着してもらうよう伝える。	
移動	N2-1	手を振った社協職員が去り出したら	J: 〇〇さん、ありがとうございました。「余暇活動」なんておもしろい切り口から話してもらいましたね。このツアーも、もしかすると余暇活動のひとつと呼べるかもしれません。 さあ、旅を続けましょう。この目の前の跨線橋を上ります。	跨線橋を上る

	N2-2	大体全員が上り切ったら	A: あ、見てください。どなたかいらっしゃいます。	跨線橋上の車イスのKさんが参加者陣へ手を振る。
アトラクション	N2-3	車イスのKさんのほうへ近づいたら	車イスのKさんのトーク（イヤフォン）	
	N2-4		A: Kさん、すてきなお話ありがとうございました。「やつほー」も楽しかったー！ また今度ー！ J: ではみなさん、ゆっくり反対側の階段を下りてください。	車イスのKさん、参加者に手を振る。 参加者、階段を下りる。
移動	N2-5		A: あ、矢印がありますね。次はどんな方が待っているんでしょう。矢印の方向へ行ってみましょう！ ところでみなさん、今日は暖かい恰好をしてきましたか？ もうずいぶん寒くなりましたよね。 J: えーでも、これからもっと寒くなるんですね。やだなー… でもさ、山はすっごいきれいだよね。ていうかおいしそう。 A: え？ J: だってさ、粉砂糖かかってんじゃん。チョコレートの上に砂糖だよ？おいしいにきまってんじゃん… A: (かぶせて)はい、はい、わかりました(笑) ではみなさん、目の前の横断歩道を渡ります。車には充分気をつけてくださいね。	矢印ボードを持った〇〇さん、〇〇さんが道路(反対側)脇に立っている。→「モチヨリチカバ」方向を指している。
	N2-6	「モチヨリチカバ」前に到着したら	J: なんだかコンサートをやっているようですね。そーっと中に入って聴いていきましょう。イヤフォンも一度外してください。せっかくの演奏ですから！	演奏はすでに始まっている。静かに中に入る。 参加者、イヤフォンを外す。
			さんによるsax演奏	
アトラクション		さんの演奏が終わって、拍手も済んだあたりで話し出す。	介護施設スタッフのFさんトーク（生声）	演奏が終わり、拍手とともにさんがはけたら、それまで聴衆として聞いていたFさんが参加者に振り返り独白を始める。
		じゅんじゅんがcue出し	Kちゃん「イヤフォンをつけてください」の指示ボードを掲げる → 参加者、イヤフォンを装着。	
	N3-1	参加者全員がイヤフォンを装着したら	A: すてきな演奏でしたね。そしてFさんのお話印象的でした。実際に施設で働いている方のお話を聞く機会なんてあんまりないと思います。みなさん、ありがとうございました。 J: (少し間を空けてから) 暖も取ったところで、次の場所までまた歩きましょうか。今度は少し長く歩きますよ。外へ出て、右へ進んでください。	Fさん、Sさんら、参加者に手を振り見送り。参加者は各自外に出る。 Tくんが矢印を持って外に立っている。
	N3-2(M3)	参加者が歩き始めている頃にフェイドイン		M3: Bus
			J: みなさんは普段、街を歩くことはありますか？ 改めて歩いてみると、また違った風景が見えてきたりしますよね。 A: じゅんじゅんは、9月からもう3ヶ月も茅野に住んでいるわけだけど、茅野の印象ってどんなかんじ？ J: 茅野の印象は、、、とにかく人が少ない、と思った。 A: (笑)どこと比べて?? J: もちろん東京となんだけど。 A: そりゃあそうじゃーん！ あとは、何かないんですか？	

移動	N3-3	歩き出して少ししたら	J: そうだなあ。お蕎麦ですね。とにかくお蕎麦屋さんが多いよね。いろんなお蕎麦屋さん連れて行ってもらいました。このあいだは新そばも食べたよ。おいしかったー！ でも、結局ね、一番食べているのは駅そばかな(笑) 駅そばサイコー そういえば、あれ、電車で持って乗れるらしいよ。	
			A: あ、そうなんだー！ 今度やってみようー	
			J: で、麻世はどういう印象がある、茅野って？	
			A: わたしは今回茅野に初めて来たんですけど、そうだなあ、とにかく360度山に囲まれているということと、あとは、どこを歩いても水の音がするなーと思いました。	
			J: あー水の音ねー印象的だよな。僕、よく散歩するけど、水の音はどこへ行っても聞こえるよね。	
	N3-4	茅野町交差点に着いたら	A: さあ、みなさん、茅野町交差点に着きました。一度止まってください。ここで左側へ渡ります。信号が変わるまで待ちましょう。	
	N3-5	信号が青になったら	J: 信号が青になりました。渡りましょう。渡ったら、今度は右側の横断歩道を渡りますので、歩道で待っていてください。人数が多いので、前のほうの方は、止まらずに少し奥の方まで進んでくださいね。	反対側に渡る
N3-6	信号が青になったら	A: さあ、もう一度渡ります。このまま「上川橋」まで行きましょう。車には気を付けてください。		
N3-7	横断歩道を渡ったあたりで	J: うわー、視界も少し開けてきました。左手前方には「木落とし公園」も見えてくるかなー？		
		A: そういえば、次の「御柱祭」は2年後なんだよね。7年に一度のお祭りってすごいよね。		
		J: 僕は7年に一度のお祭りなんて初めて聞いたけど。あの「御柱」をずーっと引きずって来るんだよね。		
		A: すごいよねー あー山が見えてきた！		
		J: あ、ほんとだ、山だー！！		
アトラクション		「上川橋」に入っているところで	「September」のノリで。	M4: September
移動	N4-1(M4)	J: いいですねー(笑) はーい、お疲れ様でした。みんないいですねえ。橋がすっかりディスコになりましたね。		
		A: みなさんいいかんじでしたよー！ 人数が多いとさらに楽しくていいですね！ さあ、ひと踊りしたところで先へ進みましょう。このまま「上川橋」を渡って直進します。	橋の真ん中から反対岸へ移動	
	N4-3	橋を渡り切ったところで	J: ここからは細い道を進みますので、1列になって左側を直進してください。車も多いので気を付けてくださいね。	※N4-2 N飛び番号 = M5: inside
	N4-4	橋を渡り切ったところで	J: では、進みます。	参加者、1列になって移動。車注意。
		ヤジマ理容室の反対側に着いたら	J: はーい、少し道が広くなりました。みなさん、整列行進へのご協力ありがとうございました。そういえば、ここでひとつご紹介があるんじゃないかな？	

アトラクション	N4-5		<p>A: そうそう! みなさん、目の前に「ヤジマ理容室」って見えますよね?このヤジマ理容室さんのちょっといい話をご紹介します。</p> <p>実はこれから、このすぐ先にある「ひまわり作業所」という施設へお邪魔しますが、そこは、精神に障がいのある方々が利用する作業所です。朝9時から午後3時15分までの間、利用者の方はお菓子の箱折や革細工、ちらしの封入やウサギのエサ用の草の選別など様々なお仕事をされますが、朝、作業所が開く前から、ドアの前で待っている利用者の方もいるそうです。この「ヤジマ理容室」さんは、そんな利用者の方々に「寒い中待っているのもかわいそうだから」と、理容室の中で待つように招き入れることもあるそうなんです。</p>	参加者はナレーションを聞きながらヤジマ理容室を眺める。
			<p>J: そうなんだー そうやって声を掛けてもらうことって、すごく嬉しいことですよ。僕もそんなこと言ってもらえたら嬉しいなー</p>	
			<p>A: せっかくだから理容室さんにあいさつしてみましょうよ。わたしがせーの! って言うので、そしたらみなさん「こんにちはー! 」と元気に手を振りましょう! いいですかー、せーの!</p>	参加者がヤジマ理容室に向かって「こんにちは! 」とあいさつする。ヤジマさんに中で手を振ってもらう。
移動	N4-6	いいかんじのところで	<p>J: なんだか気さくそうなご主人ですね。さあ、「ひまわり作業所」へ向かいます。車に気を付けて道路を渡ってください。渡ったら、そのまま真っすぐ進んでください。</p>	車がいなくなったら反対側(「ヤジマ理容室」側)へ渡る。
	N4-7	「ひまわり作業所」が見えてきたら	<p>J: さあ、見えてきました。こちらが「ひまわり作業所」です。元は病院だった建物を利用しているそうですよ。(少し間を置いてから) あちらは職員室でしょうか。中の様子を窓から眺めてみましょう。</p>	窓越しに職員室を眺める。
		参加者が窓から職員室を眺め、ひとしきりしたら所長が玄関から登場、参加者を呼び込む → 靴履き替え	<p>所長: (生声) イヤフォンを外してもらう示唆 → 挨拶と説明。</p>	茅野市民館スタッフ アナウンス補助
		所長の挨拶後	<p>茅野市民館スタッフによるアナウンス(生声): ではみなさん、トイレに行きたい方はこの時間をご利用ください。それ以外の方はゆっくり2階に上がってください。</p>	見学&トイレ休憩タイム(約5分)
	N4-8	全員が畳の部屋に集まったら	<p>J: はい、みなさん集まりましたか? 今度はラジオから失礼します。この部屋が、普段利用者の方がお仕事をされるお部屋です。いろんな道具が置いてありますね。(少し間を置いて) さて、ここで、毎朝行われるミーティングの様子を再現してもらいましょう。</p>	最後のセリフをcueに作業所職員が部屋に入ってくる(4名)。そのまま時報が鳴るまで待つ。
	N4-9 (SE)	全員が集まって少ししたら	<p>時報 → 所長の「おはようございます」よりミーティングを再現。 → 終わったら「よろしく願いしまーす」で職員ははける。</p>	
	N5-1	作業が始まって少ししたら	<p>A: いつからこちらの作業所にいらっしゃるんですか?</p>	
	N5-2	役者A:「…記憶が飛んじやって」	<p>A: お医者さんには何と言われたんですか?</p>	
	N5-3	役者Aが終わったら	<p>A: こちらは何年目ですか?</p>	
	N5-4	役者B:「…で、15年目です」	<p>A: もともとはどういった症状だったのですか?</p>	
	N5-5	役者B:「…よく覚えてないですけど」のあと少し間を置いて	<p>A: 革細工は楽しいですか?</p>	

N5-6	役者B:「…ひょうたんの形をしていて、小銭入れ」	A: これひとつ作るのにどれくらい時間がかかりますか？	
N5-7	役者Bのあと	A: こちらはいつからですか？	
N5-8	役者C:「妹とか甥っ子とか親父とか。せつかく行ったのに止めちやうのかと。」	A: ここへ来て何か変わりましたか？	
N5-9	役者C:「…その副作用というか、眠くて。」	A: えー、、、ご家族は…？	
N6-1	役者C:「…調理師やってたんだよ…辞めちゃったんだよ。聞こえなくてさ。」	A: 何の料理ですか？	
N6-2	役者C:「これ以上続けられないと思って。」	A: もう料理はしないんですか？	
N6-3	役者Cのあと少し間を置いて	A: えー…あの一、、、(質問しかけるかんじ)	
N6-4	役者D:「…選択肢もいっぱいあるから」	A: 具体的な症状をお聞きしてもいいですか？	
N6-5	寸劇が終わったら	J: 以前僕が朝に見学に来た時もこんなかんじでした。その日の天気が、利用者の方の気持ちや雰囲気大きく作用すると聞いて、興味深いなと思ったのを覚えています。そして、ミーティングの時の不思議な静けさのような空気も、とても印象に残っています。	
		A: ではみなさん、そろそろお暇しましょう。 ゆっくり焦らず1階に下りて、玄関で靴に履き替えてください。	参加者1階に下り、靴に履き替える。
N6-6	全員が靴を履いて外に出たら	J: では、職員のみなさん、今日は見学させていただいてありがとうございました。さようなら！	職員の方、玄関に見送りに出てもらう。
N6-7		A: 左へ行きましょう。	
N6-8	歩き出してひとしきりしたら	A: わたし、こういう作業所に入るのは初めてでした。あんなにたくさんの種類の仕事をなさっているんですね。普段何気なく手に取っているものは、誰かの手によって組み立てられたものなのかなーと思うと、ちょっと不思議なかんじがします。	
		J: そうだねー 実際に来て、見てみると全然見方が変わって来るよね。(少し間を置いて) さあ、ツアーも大詰め。みなさん疲れていないですか？ もう少し歩きますよ。十字路を右に行きます。	十字路を右へ。
N6-9(M6)			M6:上を向いて歩こう
N7-1	「ひまわりの里」が見えてきたら	J: みなさん、左手に「ひまわりの里」という施設が見えますか？こちらは、先ほど訪問した「ひまわり作業所」の関連施設です。まだ就労は難しいものの、生活のリズムを立て直すための支援などを行っています。今日は日曜日なのでお休みです。(少し間を置いて) では、進みましょう。	
		A: 右手の「寒天蔵」を見てください。残念ながら周りの蔵は老朽化のため立て壊されてしまいましたが、奥の大きな蔵だけは残すそうです。(少し間を置いて) あ、門が開いていますね。ちょっと「寒天蔵」の脇を通り抜けさせてもらいましょう。ふふふ、なんだか冒険みたい！ J: 工事中のようですので、ゆっくり、足元には気を付けて歩いてくださいね。では、敷地に入ってみましょう。	

移動

N7-2	「寒天蔵」に近づいてきたら	A: 大きな「寒天蔵」ですねえ。蔵の右脇を抜けて、裏の駐車場へ出ましょう。	
N7-3	駐車場に出たら	J: 裏から見ても迫力がありますね～（少し間をあけて）さ、ここで「寒天蔵」とお別れして、次の場所へ向かいましょう。門を出て、反対側の路地に入ります。 A:（少し間をあけて）車に気を付けて道路を渡ります。反対側の路地に入って進んでください。	
N7-4	川が見えたら	A: 川が見えてきましたね。砂利道を右に行って、「上川橋」に戻ります。 J: うわー！ここ視界が開けて綺麗ですねえ。いい眺めだなあ。う～む A: こんなところ通学路だったらいいなあ。 J: 僕、ここ通学路だったら絶対勉強する。 A: そうかな、するかな？ J: え、いや、わかんないけど。うん、あっちの山も綺麗だし、うん。 A: そうだね(笑)。 J: (笑) 綺麗だね。	
N7-5	「上川橋」たもとに着いたら	A: 「上川橋」に着きました。反対側に渡るので、信号が青になるのを待ってください。	
N7-6	信号が青になったら	A: 青です。車に気を付けて道路を渡ってください。道路が狭いので、前のほうの方は溜まらずに少し奥まで進んでください。	
N7-7	全員渡ったら	J: みなさん、橋の上の椅子に、箱があるのが見えますか？ その箱の中から、一人ひとつ、好きなフレームを取ってください。そして、橋の真ん中まで進んでください。	フレームを取った人から橋の真ん中へ移動

アトラクション	N7-8(M7)	橋の真ん中で	<p>J: さあ、それでは立ち止まってください。手に持ったフレームで、川の流れを見てみましょう。</p> <p>A: 「ハケ岳」から流れてくるこの水はいったいどれくらいの時間をかけて山からここまで流れてくるのでしょうか。</p> <p>J: 9月から始めたリサーチで、障がい者の施設を訪ねることは決して楽しいだけのものではありませんでした。時には胸を締め付けられるような気持ちにもなったり、何もできないのではないか、というあきらめの気持ちになったりもしました。今日訪ねた「ひまわり作業所」もそうでした。そんなとき、帰り道にこの河で立ち止まり、よく山々を見上げていました。</p> <p>近くを見て、遠くをみて。 そして、また近くを見て。 そんなことを繰り返しながら、現実をつかまえようと思いました。 語ってくれたそれぞれの人のお話も、様々なエコーを響かせながら僕に届いてきました。</p> <p>ゆっくり、映画のように、山までフレームを上げてみましょう。 ゆっくり、自分の好きなスピードで。</p> <p>好きな山を選んで、ひとつ、フレーム越しに見てみてください。 そこからゆっくり、ぐるーっと回転してみましょう。 あなたなりの、茅野のパノラマは、どんな風景が見えますか？</p> <p>ゆっくり眺めてみてください。 今日これまで会った人びと、聞いた話、見た風景を思い出しながら。</p>	M6: Viroon
	N8-1(M8)	ひとしきりしたら	<p>A: さあ、またみんなで出発しましょうか。行きましょう！ 橋を渡って、さきほど渡った茅野町交差点の横断歩道まで戻ります。フレームは、橋のたもとに緑の箱がありますので、そちらに戻してください。ゆっくりで大丈夫ですよ。</p>	橋から茅野町交差点へ移動。 M7: Lou Reed
	N8-2	茅野町交差点に着いたら	<p>J: 一度止まって、信号が変わるのを待ちましょう。</p>	
	N8-3	信号が青になったら	<p>A: 青です。渡りましょう。まっすぐ進んでください。</p>	
	N8-4	「ほたるの小径」にさしかかったら / Mフェイドアウト(かけきり?)	<p>J: そろそろこのツアーも終盤に差し掛かってきました。右の「ほたるの小径」に入りましょう。道なりに進んでください。</p>	
	N8-5	手話ガイドのKさんが見えたら	<p>A: あ、見てください。どなたかいらっしゃいます。近くまで行ってみましょう。</p>	手話ガイドのKさん、「ほたるの小径」上に立っている。 参加者が近くに来たら手話開始。
	N9-1	Kさんの手話が終わったら	<p>J: みなさん、意味はわかりましたか？手話の道案内というのも素敵でしたね。さあ、「弥生通り」を直進します。</p>	手話ガイドのKさん、参加者を誘導して横断歩道を渡る。 「弥生通り」入口でお別れ。
		「弥生通り」に入ったら	<p>A: ここでひとつ、みなさんにエピソードを紹介します。障がいのあるお子さんを持った、あるお母さんのお話です。</p> <p>お母さんの談話（役者による朗読）</p>	

移動	N9-2(M9)		J: このお話を聞いたときにはっとしました。そもそも、障がい者として人前に立つ、ということが重荷になっている方もいらっしゃるんだな、と。 A: こちらが良かれと思っていることが、そのまま受け入れられるとは限らないですね。 J: ですので、僕はこのお話こそみなさんに紹介するべきだと思いました。これもまた、障がいをめぐるひとつの現実ですから。 A: そうですね。貴重なお母さんの生の声ですね。	M8: Hecate
	N9-3	「跨線橋」下に着いたら	J: 「跨線橋」まで戻ってきましたね。みなさんまだ階段を上る元気はありますか？(笑) いいですね(笑) さあ、もうひとふんばり！いきましょう！	「跨線橋」上でちゃんが写真を持って立っている。
	N9-4	大体全員が上りきったら	A: あ、また誰かいますよ。今度は車イスのKさんじゃないですね。でも何か持っています。行って見てみましょう。 (少し間を置いて) あ、さっきの写真だ！(笑) J: あ、みんな映ってる！うわ！	
	N9-5	写真の前を通り過ぎたら	J: 隠し撮りされてたんですね！「やっほー」という声が聞こえてきそうな、とても元気な写真です。 さあ、市民館も見えてきましたよ。ゆっくり階段をおりましょう。足元を気をつけて、慌てないでゆっくりと降りてください。降りたら、そのまま市民館のほうへ向かってください。	
	N9-6	ロータリー過ぎたあたり	A: わたしたちの旅ももうすぐ終わりですね。みなさんはどんな"パノラマチノラマ"を体験されましたか？	
			J: 僕は今回、この企画に携わるにあたって、3か月間茅野市に実際に滞在しました。その中で知り合った方々、訪ねた場所、考えたことを、僕なりのやり方でみなさんにご紹介し、交流できればいいなと思っていました。1時間半という短い時間に、3ヶ月という時間を凝縮することはできませんが、みなさんにとってこの"パノラマチノラマ"が何かの小さなきっかけとなれば、これ以上うれしいことはありません。...つて、いい話をしてる時に何か聞こえてきてますよね？ A: (ちょっとかぶせ気味で) ほんとだ。じゅんじゅん、あんまり話してる場合じゃないよ。みなさんもイヤフォンを外して、行ってみましょう！早く早く！	ちょうどいいところでゴスペルの歌が聞こえてくる。 先頭、小走りで参加者を中庭へ誘導。イヤフォン外す。
アトラクション		小松チヒロmass choirのみなさんによるパフォーマンス	徐々に参加者も巻き込んで、後半は出演者全員も加わりダンス	
		拍手	じゅんじゅんによる挨拶(生声)	
		クロージング	お茶を振る舞い暖を取ってもらう。	